

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



優勝した総社西中学校の野球部

総社西中学校野球部3年生は先日、市長杯で引退しました。1年生当初から弱小チームといわれ、なかなか試合に勝つことができませんでしたが、さすが、野球に対する情熱は人一倍で、指導者から叱咤激励されながら腐ることなく、練習に黙々と取り組んできました。その姿を見守る親のほうに辛くなるほどでしたが、幾度とない厳しい試練に耐え、3年生の夏には、見違えるほど成長をし、最後の試合で「優勝」という有終の美を飾ることができました。

から教わり、感激で涙があふれました。休みなく指導していただいた先生方には、ただただ感謝の一言です。

(岩知道雅子さん・清音上中島)

私たち総社北幼稚園PTAは、優良PTA文部科学大臣表彰を受章しました。

これまでPTAと園で力を合わせて取り組んでいる集団登園による交通安全の推進や絵本の読み聞かせなどに、保護者全員が携わって活動していることを評価していただいたと思います。

これを励みに、皆さんの協力をいただき、さらによりよい活動につなげていきたいと思います。

(総社北幼稚園PTA 粒生直義会長・泉)



リュウゼツラン

半世紀に1度しか咲かないといわれるリュウゼツランが、この夏わが家で咲き、近所でも話題になりました。

花を植えたのは今から約50年前で、この地に嫁いで2、3年たったころです。それが、今年の5月突然、タケノコのように幹が伸び、7.5mもの高さに成長しました。何事かと思い毎日写真を撮っている、枝が出て、つぼみができ、ついに8月1日、淡い黄色の花が咲きました。神秘的で何とも言えない感動を覚えました。

8月21日には、てっぺんまで花が咲き、満開になりました。この花は私の人生そのもので、満開の花を見られてとても幸せでした。

(森悦子さん・美袋)

教育現場 不登校対策

市内の全幼稚園、小・中学校 だれもが行きたくなる学校づくり 10月から4つのプログラムを各学校で開始



8月に行われた研修で、協同学習の方法を学ぶ教員

市教育委員会では、総社市不登校対策研修会を今年4月に立ち上げました。市内のすべての幼稚園、小・中学校が参加し、不登校の児童・生徒を減らす対策に取り組んでいます。

市内の平成20年度の不登校者数は小学校14人、中学校61人。割合にすると、小学校が0.35%（全国平均0.32%）、中学校が3.19%（全国平均2.89%）と、いずれも全国平均より少し高めです。

研修は、「だれもが行きたくなる学校づくり」をテーマに、来年2月まで月1回のペースで開催。子どもとの人間関係づくりや仲間づくり、学校の支援体制づくりの考え方や方法を教員は学んでいます。講師を務め



学校教育課 藤井和郎課長

広島大学の栗原慎二教授と市教育委員会、学校の3者が3か年計画で取り組みます。4つのプログラムを全ての学校に導入し、子どもたちが行きたいと思える学校づくりを目指します。不登校の人数を減らすのみならず、学力が伸びることも期待しています。

る広島大学の栗原慎二教授は、「子どもたちのコミュニケーション能力を高めることがこの取り組みの目的」と話します。

この目的達成のために4つのプログラムを設定。プログラムは、①子ども同士が助け合って学習する「協同学習」、②互いに支えあう活動をし、思いやりのある子どもを育てる「ピア・サポート」、③相手の感情を体験により理解し、自分の感情をコントロールする

「社会性と情動の学習」、④人と人がかわるルールを身につける「品格教育」の4つ。10月から市内一斉に各学校で、子どもたちはそれぞれ一つを実践。各中学校区ごとに、小・中学校が連携してプログラムに取り組めます。

不登校になる前の予防措置で、市教育委員会と学校、大学が連携した取り組みはこれまであまりなく、不登校が起きにくい学校づくりを進めていきます。

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

今月の表紙

電気自動車に付いた赤ちゃんのイラストを描いた森山陽菜ちゃん(右端)と姉の珠結ちゃん(中央)、弟の礼くん(左端)

編集後記

■芸術の秋、読書の秋、食欲の秋、睡眠の秋。過ごしやすくなってきたので、自分の趣味の時間もち時間を大切にしたい。
■ゴーヤの緑のカーテン、太陽光発電、アイミーブなどエコの時代だ。移動もなるべく自転車。これも小さなエコだ。
■「いつまでも暑いですね」が決まり文句。この夏の猛暑には、まいった。出穂した稲を見ながら、本当に秋は来るかなと思うほど、残暑は厳しい。

桃のシロップ漬が当たる

広報クイズ

今月の「広報そうじゃ」をよく読んで、次のクイズにお答えください。

Q1 国民文化祭・おかやま2010の開幕日は、○月○日

【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。全問正解者のなかから2人に桃のシロップ漬を贈ります。

【応募期限】 11月1日(月)

【7月号の答え】 ①10月

【7月号の当選者】 水川洋二さん(泉)、木多満子さん(中原)。(応募者数12人)

■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課